



# 特定行為に関わる看護師の研修制度

JADECOM NDC研修センター 戎 初代

今月号より、「特定行為に関わる看護師の研修制度」に関連した連載を始めるにあたり、本制度がどのような仕組みとなっているのか、学習課程も含め概略を説明させていただきます。

本制度は、2015年10月1日に制定され、厚生労働省のホームページから抜粋すると、以下のよう

に説明されています。

「2025年にむけて、さらなる在宅医療等の推進を図っていくためには、個別に熟練した看護師のみでは足りず、医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により、一定の診療の補助(例えば脱水時の点滴など)を行う看護師を養成し、確保していく必要があります。このため、その行為を特定し、手順書によりそれを実施する場合の研修制度を創設し、その内容を標準化することにより、今後の在宅医療等を支えていく看護師を計画的に養成していくこと」を目的としています。そして、本制度が開始されたとしても、「現行と同様、医師又は歯科医師の指示の下に、手順書によらないで看護師が特定行為を行うことに制限は生じません」と書かれてあります。そのことから、これまでの医療機関で行われていたであろう、直接指示下による医行為の一部とされる特定行為は、この研修を受けていないからと言ってできなくなったわけではありません。まず、本制度を理解するためには、これらのことを看護師のみならず、看護師と関わる全ての職種、そして国民が共通認識を持っていく必要性があります。

特定行為研修の受講には、おおむね3～5年以上の実務経験を有する看護師(厚生労働省医政局長通知より)が想定されています。研修機関としての指定を受けている機関において、共通科目315時間(表1)を修了した者が、区分別科目を

受講できる流れになります。共通科目に含まれる全ての科目は必須科目であり、特定行為研修を修了するためには必ず受講しなくてはなりません。ただし、認定看護師や専門看護師といった教育課程などで、共通科目の一部が含まれている教育課程を修了している者に対しては、該当する科目の一部時間数を免除できるとされています。この免除に関しては、各指定研修機関の判断に任されています。

共通科目受講を修了したのちに、区分別科目(特定行為21区分38行為:表2)である、特定行為を学習することになります。これらの科目は選択制になっています。そのため、どんな区分別科目を選択するかは、指定機関の方針やカリキュラムの提示方法によって異なります。学習時間は、選んだ区分に必要な時間数の合計時間となり、それにより学習にかかる費用も異なります。JADECOM-NDC研修センターでは、区分別科目の中から選択することはできず、21区分38行為の全てを履修することを必須としています。いくつかの大学院で開講している、診療看護師養成においても、21区分38行為を全て履修することとなり、卒後は「特定行為に関わる看護師の研修を修了した者」としての位置づけになります。

表1 共通科目7科目 315時間

科目	時間数 (時間)	学習構成
臨床病態生理学	45	講義, 演習
臨床推論	45	講義, 演習, 実習
フィジカルアセスメント	45	講義, 演習, 実習
臨床薬理学	45	講義, 演習
疾病・臨床病態概論	60	講義, 演習
医療安全学	30	講義, 演習, 実習
特定行為実践	45	講義, 演習, 実習

表2 区分別科目 21 区分 38 行為 (すべて受講すると 766 時間)			
科目 (区分)	行為数	時間数(時間)	学習構成
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	1	22	講義, 実習, OSCE
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	4	63	講義, 演習, 実習
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	1	21	講義, 実習, OSCE
循環器関連	4	45	講義, 演習, 実習
心嚢ドレーン管理関連	1	21	講義, 実習
胸腔ドレーン管理関連	2	30	講義, 演習, 実習
腹腔ドレーン管理関連	1	21	講義, 実習
ろう孔管理関連	2	48	講義, 実習, OSCE
栄養に係るカテーテル(中心静脈カテーテル)管理関連	1	18	講義, 実習
栄養に係るカテーテル(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル)管理関連	1	21	講義, 実習, OSCE
創傷管理関連	2	72	講義, 実習, OSCE
創部ドレーン管理関連	1	15	講義, 実習
動脈血液ガス分析関連	2	30	講義, 実習, OSCE
透析管理関連	1	27	講義, 演習, 実習
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	2	36	講義, 演習, 実習
感染に係る薬剤投与関連	1	63	講義, 演習, 実習
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	1	36	講義, 演習, 実習
術後疼痛管理関連	1	21	講義, 演習, 実習
循環動態に係る薬剤投与関連	5	60	講義, 演習, 実習
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	3	57	講義, 演習, 実習
皮膚損傷に係る薬剤投与関連	1	39	講義, 演習, 実習

区分別科目まで修了したあと、厚生労働省に修了者として登録されます。修了証の発行は、各指定研修機関に任されており、委員会などの承認を通してそれぞれの修了生へ発行されます。2018年3月の時点で、修了者は1,006名となっており、区分別科目ごとの取得人数にはかなりのばらつきがあります。1区分のみを修了していても、21区分全てを修了していても、「特定行為に関わる看護師の研修を修了した者」という位置づけは同じです。そのため、本研修を修了した者と雇用者が「何の区分別科目を修了」しているのかは明確にしておかなくては、一緒に臨床で働く者は混乱する可能性があります。呼称についても、雇用先の施設において任されていますので、日本全国で統一された呼称は現在のところありません。JADECOM-NDC研修センターでは、修了生を「特定ケア看護師」として呼称するようにしています。その他の研修機関を修了した者は新たな呼称を使用せず、元々の「認定看護師」や「専門看護師」としているところもあり、そ

れらを取得していない者が研修を修了した場合には、「特定看護師」としている施設もありさまざまです。

本研修は、単純に修了者を多く出せばよいものではなく、目指す結果は「医療を必要とするあらゆる現場において、看護師による特定行為が生かされ、患者(医療を必要としている人々)に対しての結果を生み出すこと」だと考えます。医師の働き方改革の中で、タスクシフトやタスクシェアという部分でも引き合いに出され、今も看護師や医師だけでなく他関係者からも敬遠されがちではあります。さまざまな医療の現場は、そこに関わる全ての職種が多大な努力を行って業務を遂行している現状です。本研修が、一部の職種だけのために制度化されているのではないかとイメージされてしまっている現状は、残念に感じます。本研修の最大の目的は「患者に対して結果を生み出すこと」であり、その結果の副次効果として、さまざまな働き方改革が産まれるのだとご理解いただければと思います。